

## 脱原発世界会議開催

一月一四〜一五日、パシフィコ横浜にて「脱原発世界会議2012 YOKOHAMA」が開催されました。参加者は海外から三〇ヶ国約一〇〇名を含め、二日間で一万一、五〇〇人に上りました。

会議はインターネットで全世界に中継され、約一〇万人の人たちが視聴し、大きな反響を呼んでいます。

計一〇のセッションが設けられ、原発や自然エネルギーに関する主要な論点を取り上げられ、行動が提言されました。まず東電福島第一原発事故を検証し、原子力の問題点を洗い出し、脱原発を決めたドイツの先例に学び、日本でのエネルギー政策転換が議論されました。また、チェリノブイリの事故や太平洋核実験などの先例に学びつつ、福島における被曝最小化を提言し、放射能から子どもを守る全国の連携を模索していくことが話しあわれました。

さらに原発と核兵器のつながりに着目し、南アジアや中東から報告を聞き、日中韓など東アジアの脱原発、海外ゲストとの交流も行われました。



原発事故の体験を語る福島の子どもたち

閉会にあたり

「**原発のない世界の**

**ための横浜宣言**」が発表されました。

横浜宣言は、①福島の被災者の権利、②日本政府と東電の説明責任、③住民被ばく最小化、④世界的な脱原発の行程表づくり、⑤日本は停止中の原発を再稼働しないこと、⑥途上国への原発輸出の禁止、⑦地方自治体の役割などを強調し、福島を支援する国際ネットワークをすすめることをうたっています。そして、来る**三月一日に全世界での行動**を呼びかけています。

人々の出会いを追った記録ドキュメンタリー

## 脱原発世界会議 DVD 鑑賞会

○とき **3月17日(土)** 開場 14:00~

○ところ ラ・ホール富士

○記録 DVD「ドキュメント・脱原発世界会議」

○主催 富士・九条の会

○連絡先 伊藤 0545-61-6814



# 「九条の会」全国交流集会

「九条の会」の第4回全国交流集会が11月19日、東京の日本教育会館で行なわれました。東日本大震災の被災地や沖縄を含め全国各地の代表が参加し、草の根の活動経験を持ち寄りしました。震災復興や原発問題と憲法のかかわり、新たな強まりを見せている改憲策動への対抗策などについて、750人の参加者が熱心に交流しました。作家の大江健三郎さん、憲法学者の奥平康弘さん、のあいさつがありました。

大江さんは「福島で起きてることが二度と起きないように全力を尽くすことは、核を持たないという、憲法文化」につながると述べました。奥平さんは、「日本人が」3・11に



よって「憲法よさを」再認識しているとききに、「亡霊」のようにでてきた。ここで、あらためて気をひきしめ直し、たたかいて挑む必要があります」と話しました。澤地さんは、「日本はいま世直しを求められている。

「憲法が軽んじられていて現状を」変えなければいけない」と思っています」と語りました。



## 「福島県九条の会」声明

福島県九条の会は、東日本大震災で犠牲になられた方々に哀悼の意を表すとともに、過酷な境遇におかれている地震や津波、ならびに原発事故の被災者に対して、心からお見舞いを申し上げます。とりわけ、原発では、これを会の設立趣旨以外の出来事として傍観者を決め込むわけには参りません。私たちは日本国民がこれまで経験したことのない原発事故によって、ふるさとの町や村を追われ、日夜放射線による生命と健康危険に怯えながら、日常的な生活を破壊されて、劣悪な環境の中で避難生活を送っている人々を、身近に見ています。また、被災地九条の会の少なからぬ九条の会の構成員が、その当事者になつていきます。私たちは地元の会として、この悲惨な現実から目を逸らすことはできません。

それだけではありません。日本国憲法九条が依拠する「**平和的生存権**」**」「恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利**」の侵害という根本的次元で、戦争の惨禍と原発

「巨大人災」とは共通なものがあります。それどころか、「安全神話」を振りまいて原発路線を突っ走った利権絡みの原発利益共同体と、人的にも思想的にも深い地下茎で繋がっており、同じ土壌に根をおろしているのです。

私たち福島県九条の会は、こうした状況を踏ま

え、さしあたり、次のことを求め、その実現のために力を尽くす決意です。

一、県民の生命と生活の危機の回避と、侵害された人権および日常の一刻も早い回復。とくに、こどもなど被曝弱者のいのちと健康を護る施策の早急な実施。

一、東京電力および国による、県民がこうむった被害の迅速かつ全面的な補償。

一、県復興ビジョン検討委員会が提起した「原子力に依存しない、安全・安心で持続的に発展可能な社会づくり」という基本理念の堅持と具体化。

一、原発事故にいたる歴史的経緯の客観的な検証と、その社会的責任の所在の徹底的究明。

福島県九条の会は、九条を護り生かす活動を基本としながらも、右の目標達成のため、志を同じくする県内外の諸団体と連携して、行動したいと思えます。県内各地の九条の会も、相互に連絡を密にして、これらを実現するため、創意ある取り組みを組織されるよう期待します。

最後に、被災者のふるさとへの帰還と、被災地九条の会の再建とが一日も早いことを願うものです。

### 書籍

二〇一一年七月一日

福島県九条の会

「くらし」「子育て」「なりわい」を原発に破戒された私たちの願いと闘い

『福島は訴える』  
福島九条の会編  
かもがわ出版  
1,600円



# 平和は沖縄から

敗戦から66年がたち、日本は、驚異的な経済復興を果たして先進国の仲間入りをした。それは、平和憲法9条により、戦争を一度もしなかったからである。

私は最近、趣味の会を通して仲間と意見交換をするようになり、沖縄の問題に目を向けるようになった。それは米軍基地問題であり、これまで差別され続けてきた沖縄の人々の苦しみである。

もともとは独立国であった琉球は江戸時代に薩摩藩が侵略し、日本の領土にしてしまった。太平洋戦争末期に本土防衛の盾として最前線となり、連合軍の激しい攻撃に何十万人もの民間人が犠牲となった。さらに味方であるはずの日本軍に集団自決を迫られて、沖縄のあちこちで地獄のような光景が展開された。その後も日本軍は、降参せず、広島・長崎への原爆投下によってようやく無条件降伏したが、この決断に至るまであまりにも

長く、犠牲者が多かった。戦争による犠牲者はいつも弱いもので、人間の歴史といって言いくらい、戦争のない時代はなかった。

今も繁栄を享受する国がある一方で、テロや地雷などによる民間人の犠牲者は後を絶たず、とても平和な世界とは言い難い。

沖縄の米軍基地も戦争を前提として存在するものであり、それがなくならない限り日本の平和はあり得ない。敗戦とともに米軍基地も戦争を前提として存在するものであり、それがなくならない限り、日本の平和はあり得ない。敗戦とともに米軍に占領されて沖縄全体が米軍基地のようになり、その後、日本に返還されたと言っても基地は相変わらず仮想敵国から真っ先に狙われるのが米軍基地であるから、沖縄は地獄と化すだろう。

これから基地の移転で新たに滑走路を建設すると、貴重な沖縄の自然も破壊される。米軍基地は沖縄を安全で豊かにするどころか住民を苦しめるのである。日本政府による2000億円も思いやり予算で、こんなに居

心地の良いところはないのだ。

日本は核兵器廃絶とノーモア広島・長崎を宣言した。力を力で抑える発想はやめな限り、戦争は絶対なくならない。

**山本昭吾** (富士市大淵)

日本キリスト教団 吉原教会

「平和を祈る会」



沖縄普天間基地を飛び立った  
米軍爆撃機とヘリコプター

# 原子力から再生可能 エネルギーへの変換！



FREE ENERGY FOR EVERYONE

## 『第4の革命 — エネルギー・デモクラシー』

ドキュメンタリー映画「第4の革命 — エネルギー・デモクラシー」は、2010年ドイツで13万人を動員。ドイツで2010年最も観られたドキュメンタリー映画となりました。ドイツではエネルギー自立のためのイベントキャンペーンを草の根で展開。結果、180都市で4000にも及ぶ上映イベントが展開されました。この映画の監督であるフェヒナー氏は緊急に脱原発世界会議に参加されました。

3・11東日本大震災以後、5月3日にアルテ（ドイツ・フランス共同テレビチャンネル）、5月19日にARDで放映され、200万人以上が視聴。ドイツの脱原発に一定の影響を与えた映画となりました。6月6日、ドイツ・メルケル首相は2022年までの「脱原発」を閣議決定していません。

## いわき市では大規模な洋上風力発電

爆発的な風力発電導入を実現した、ドイツの1990年の電力買い取り法、そして2000

年にドイツで制定され、その後太陽光発電の導入の起爆剤となった「再生可能エネルギー法」。

これら2つの法律を制定させた中心人物こそ『第4の革命』エネルギー・デモクラシーのメイン出演者である、ヘルマン・シェーア氏である。この映画はシェーア氏の提案により4年がかりで完成。2010年、ドイツで最も観られ、その後のドイツのエネルギー政策に影響を与えたドキュメンタリー映画である。日本でも被災地の磐城市では市復興の要として大規模な洋上風力発電の建設が取り組まれていきます。

## 映画の上映予定 富士では？

1月14日には全国一斉上映会で、多くのところで上映されました。静岡県では焼津市で行われ、終了後、浜岡原発の永久停止を決議した牧ノ原市の西原茂樹市長との懇談会がもたれました。

連絡先 ユナイテッドピープル

Tel 011(231)9355

公式サイト <http://www.4revo.org/>